

救急蘇生法

【Cardiopulmonary Resuscitation】

担当責任者 教授(救急・集中治療医学) 尾崎 将之

ねらい 救急蘇生法は医学的知識の有無にかかわらず、すべての人が習得すべきもので、医学生になった初年度に、このカリキュラムを組まれているのもそのためである。

学修目標

1. 絶え間ない胸骨圧迫を早く(100/分～120/分)、深く(約5cm、6cmを超えない)実施できる。(Ⅱ-7)
2. 胸郭を毎回元に戻すことができる。(Ⅱ-7)
3. 人工呼吸は1回1秒で、過換気を避けることができる。(Ⅱ-7)
4. AEDを用いて安全かつ迅速に電気ショックを行うことができる。(Ⅱ-7)

事前事後学習の方法

講義について

1. 予習: 指定教科書をよく読み、予習課題を仕上げておくこと。
2. 復習: 復習課題をノートにまとめること。

実習について

1. 予習: 指定教科書をよく読みこみ、実技ができるように備えること。
2. 復習: 実技を振り返り、筆記試験に備えること。

成績評価方法・基準

1. 学習能力:最終試験 100点
2. 技術能力:スキルチェックシートによる技術評価 50点
3. 態度:各授業の参加による加算により各授業の配点 1回25点×2=50点(合計:50点)
4. 1・2・3の合計得点を2分の1とし、100点に換算し、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

日本救急医療財団「救急蘇生法の指針 2020 市民用」(ISBN:978-4-86719-026-5)

○ 参 考 書

JRC蘇生ガイドライン2020(ISBN: 978-4-260-04637-4)

講義・試験:2201講義室

実習:2205講義室

年月日	曜日	時限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.6.18	水	1・2	救急蘇生法(歴史と総論)	CS	03	03	01	尾崎 将之
6.23	月	1・2	小グループによる実習	CS	03	03	02	全医局員
6.23	月	3・4	小グループによる実習	CS	03	03	02	全医局員
7.2	水	1・2	小グループによる実習	CS	03	03	02	全医局員
7.2	水	3・4	小グループによる実習	CS	03	03	02	全医局員
7.14	月	1・2	総括・筆記試験	CS	03	03	02	尾崎 将之